

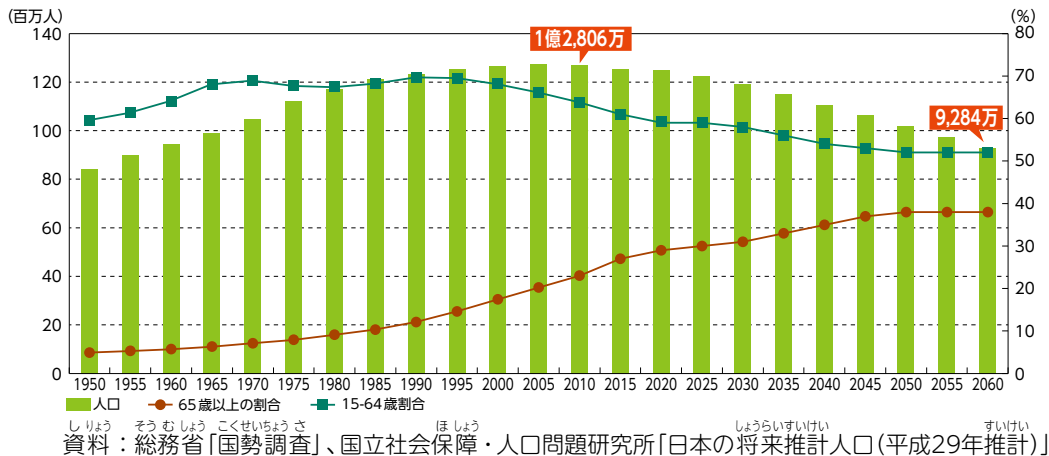
# 今、日本で何が起こっている

世界では、環境・経済・社会のからみ合った問題の解決に向けて様々な動きが始まりました。日本も世界の一員として取組を進めていますが、その前に、日本ではどのような問題が起こっているか考えてみましょう。

## 人口減少・少子高齢化

日本では、経験したことのない「人口減少」、子どもに比べて高齢者の割合が増えていく「少子高齢化」が進んでいます。2060年には人口は約9,000万人に、また約5人に2人が65歳以上になると推計されています。人口減少と少子高齢化がともに進むと、働き盛りの人の数が少なくなり、経済へ影響が生じると考えられています。

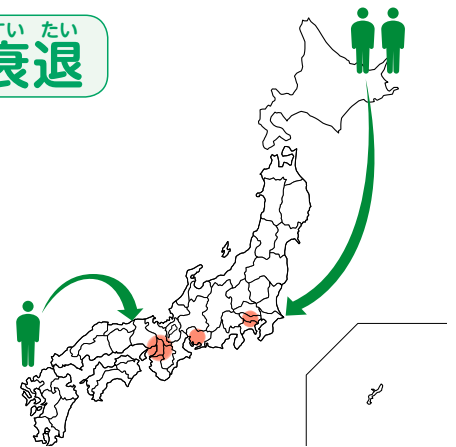
●人口と高齢化率



## 大都市圏への人口集中・地方の衰退

東京、名古屋、大阪といった大都市圏には、日本の人口の約半分が集中しており、特に東京周辺への人口集中が加速しています。

一方、大都市圏以外の地域では、人口減少による地域産業の衰退、担い手不足による様々な文化の伝承の危機などが大きな課題となっています。



## 多発する気象災害

2018年7月、台風や梅雨前線の影響により大雨となりやすい状況が続いたため、西日本を中心に多くの地方で観測記録を更新する大雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。

近年、大規模な気象災害が多発しているのは、地球温暖化がその一因とも言われています。

●平成30年7月豪雨



資料：国土交通省九州地方整備局